

高等部

1 1 年生 各々の「道」を探して、ともに歩む最後の2年間の新たな始まり

いよいよ、26人のクラスが最後の2年間、11年生のスタートを切りました。人数の多さはクラスの勢いにつながり、同時に多様性も広がります。一人一人の成長に向き合っていくこの2年間の道のりに対して、私たち教員も新たな決意を持って臨む春です。

オリエンテーションに続き、早速生徒一人一人との面談が始まりました。9月の卒業プロジェクトのテーマ決定・発表や労働実習を念頭に置いての面談です。それぞれの話に耳を傾けつつ、この子がこんな興味を持っていたのかと驚いたり、こんなしっかりしたことを言うようになったかと感心する場面もあったり、心躍る面談が進んでいます。

4月20～23日には、初等中等部の間に文通をしていた台湾の慈心シュタイナー学校の10年生の生徒さん5人が旅行に来ることに呼応して、ホームステイを引き受けたり、クラスに招いたりして交流しました。この夏には逆に台湾へ中国語の学びの成果を持って訪問したいと希望する生徒も現れ、開校翌年から始まった中国語の授業が少しずつ実を結んできた感があります。ここからそれぞれの世界がどのように展開していくのかとても楽しみです。

(11年生生活担当 住吉のぞみ)